

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和4年3月定例会

議席番号4番  
高桑 佳子議員

介護職員の処遇改善と人材確保、育成について

介護の現場では、長らく人手不足が続いている。ますます少子高齢化が進むなか、国・県・町ともに、その対策を講じてきているが、状況の改善を見ないまま現在に至っており、さらに深刻になってきている。団塊の世代全員が75歳以上となる超高齢化社会、いわゆる2025年問題が目前に迫るなか、地域の実情に即した出雲崎町の改善策が必要と考え、次の項目について伺う。

①老朽化した「やすらぎの里」については、数年以内に建て替えが検討されているが、現在の進捗状況を伺う。

②介護職員の就労については、近隣地域でも競争になっている。長岡・柏崎地域と就労条件が同等では人が来ない。現在、就職支援については町独自で行っているが、新規就職者に限られている。現場職員の労働意欲を高めるためにも、具体的な処遇改善を打ち出すべきではないか。

③新卒採用に関しては、実習生の受け入れが一つの指標になっている。町ホームページやポスターなど、PRに協力する考えはないか。

④外国人材の受け入れが、具体的に進んでいると聞くが、当町で受け入れる支援として、まず、住居が重要と考える。町として独自に提供する、あるいは民間で確保した場合に補助をする考えはないか。

⑤外国人技能実習生については3年と期間が決まっているが、介護福祉士の資格を得ることで、期間が延長できる。生活習慣や言葉の壁があるが、資格取得に向けて支援を検討できないか。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和4年6月定例会

議席番号4番  
高桑 佳子議員

休日の部活動の地域移行について

スポーツ庁が進める公立中学校の部活動で、休日の部活動指導を地域や民間団体に委ねる地域移行について、有識者会議では、2025年度までを改革集中期間とし、全国での達成を目指している。少子化が進む現状と教員の働き方改革のなかで、大きな意味を持つものと同時に、地域や子どもたちにとっても、大変大きな変化があるものと考ええる。

当町においては既に協議会が立ち上がっているが、各自治体で地域の実情は異なっており、出雲崎町なりのスタイルを模索していくことになると思う。今後、中学校の部活動を地域と共に充実させていくための取り組みが必要であり、どのように進めていくお考えか伺う。

1. 目安とできる一定のタイムスケジュールを示すことが有効とされているが、当町はどのようなスケジュールか。
2. 地域移行における課題をどのように捉えているか。国の支援も考えられているが、費用や報酬、何か起こった場合の体制はどうか。
3. 早い段階での保護者や地域への周知が必要かつ有効と思うが、どのように進めていく考えか。
4. スポーツで地域と学校とをコーディネートする地域おこし協力隊員を採用できないか。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和4年9月定例会

議席番号4番  
高桑 佳子議員

有効な支援が必要な人に届く制度に

出雲崎町の子育て支援については、他の市町村ではできない素晴らしい制度をもっている。コウノトリ祝金・医療費助成・入学祝金・通学費助成等の経済的支援のみならず、様々な場面での相談支援など、きめ細やかな対応は当町ならではと自慢できるものである。

一方で、子育て世代や児童・生徒数の減少には歯止めがかからず、他の支援制度と併せて町内外へさらなる周知・浸透が必要ではないか。また、何らかの事情で、支援制度を利用できない人もいる。そういった方たちへ支援を届けられないかと思うので、町長の考えを伺う。

1. 出雲崎町子育て支援のPRについて、どのように進めていくのか構想があるか。

2. 他の事業と併せて発信していく必要がある。現在、多世代交流館きらりのホームページは大変魅力的に仕上がっていると思う。インスタグラムやフェイスブックを始めているが、写真の投稿を募集するなどして、ロコミを広げていけないか。

3. 現在行われているイベント「財宝をさがせ」は好評であり、町外から多くの子育て世代が訪れている。これを機会に、町の支援策をアピールしてはどうか。

4. 高校生の通学費助成に関して、現在通学定期代の30%が補助されている。通学定期代は、柏崎あるいは吉田方面のJRと長岡方面のバスを比較した場合、約倍ほどもバスの方が高い。今後、長岡方面とのつながりを考えるとき、通学バス定期の補助を上げられないか。

5. いろいろな事情で公共交通機関での登校が難しい高校生がいると聞く。保護者が送迎することで、学校に通えている生徒は通学定期券の購入ができず、補助をうけることができない。時間的に制約を受け経済的にも支援を受けられない方たちに助成の対象を広げることは考えられないか。

6. バスの運行が減って、夕方のおかえりライナー便が運行されている。朝の通学バスは6時台1本であるが、7時台に中永発の2本

のバスに連絡できる朝のライナー便を運行できないか。

7. 奨学金の返還支援事業助成金について、大学等を卒業した年度の末日から5年以内に地元就職した出雲崎町に住所を有する方といった助成要件があるが、家庭や何らかの事情で卒業できずに地元就職する方もいる。中退者にも助成金の適用を検討できないか。